

# まちなみ写真コンテスト

## 審査総評

素晴らしい写真を応募いただき誠にありがとうございました。今回応募いただきました両部門計530点すべてを、審査員でしっかりと拝見させていただきました。一般部門、キッズ部門ともに、福岡のまちなみへの興味を強く感じる写真の数々でした。

一般部門の入賞作品は、被写体が持っている存在感や季節感に加え、色彩の取り入れ方などがそれぞれ評価されました。キッズ部門では被写体への素直なアプローチや、素敵なタイトルに驚かされました。

今回の応募作品に写し込まれた街並みの写真は、将来にわたり街の貴重な記録にもなっていきます。これからも身近な街で出会った被写体に、気持ちを込めて撮影を続けてほしいと願っています。

まちなみ写真コンテスト審査委員会委員長  
百瀬 俊哉（九州産業大学 教授）



## ▶市民賞(1作品)

Citizen Prize

## ▶夕陽とひこうき雲

[氏名] 杉山 世志彦

[場所] 福岡タワー／第3回都市景観賞

[コメント]

夕陽とひこうき雲、福岡タワーのバランスが絶妙でした。

[審査講評]

茜色の空を連れて水平線に隠れようとする太陽。シルエットで浮かび上がるサイドももの建物群に吸い込まれていくような「ひこうき雲」。福岡を代表する景観がつくったプレミアムな一瞬に、多くの市民のみなさまの心が惹きつけられたのではないでしょうか。

## ▶ 優秀賞(一般部門／4作品)

Excellent prize



### ▶ 造船所で働く人

[氏名] 山本 和弘

[場所] 福岡造船(株)福岡工場／第19回都市景観賞

[コメント]

巨大な造船所で働く人も米粒みたいに見えます。その規模の大きさに只、圧倒されます。

[審査講評]

青い空と真っ赤な船首、黄色のクレーン…。“自己主張”する複数の色をうまくまとめています。また、船体の半分がシルエットで暗く沈み、船の重量感や迫力が増しました。海に近い福岡市ならではの光景ですね。



### ▶ 祈り

[氏名] 永尾 優美香

[場所] 水鏡天満宮／第21回都市景観賞

[コメント]

朝日の光の中で手を合わせる、神聖な一枚。

[審査講評]

作者は神社を囲む赤い塀のすき間から、お参りする女性を捉えました。手前にある木々や斜めから差し込む朝の光が一枚の絵のよう。市民にとって慣れ親しんだ神社をこのような視点で捉えた作者のセンスが光ります。

### ▶ 古城の月

[氏名] 角 芳郎

[場所] 旧福岡県公会堂貴賓館／第22回都市景観賞

[コメント]

ヨーロッパ風な古城に見えて研ぎ澄まされたように輝く月を撮って寒々とした雰囲気を出してみた。

[審査講評]

言うまでもなく旧福岡県公会堂の上に浮かぶ月がポイント。この月がなければ何の変哲もない写真になったでしょう。また、画面全体を落ち着きのある青い色調でまとめ“古城”的な雰囲気を醸し出しています。



### ▶ 春爛漫

[氏名] 橋野 芳治

[場所] ふくおかフィナンシャルグループ本社ビル／第22回都市景観賞

[コメント]

舞鶴公園の牡丹園からの眺望です。ソメイヨシノは3~4部咲きで満開にはちょっと早い時期でしたが、手前の桜はほぼ満開でした。そこで本社ビルを桜の額縁

[審査講評]

F FGビルを中心配し、画面の周りを桜で囲うなど隅々まで計算し尽くされた構図です。また、晴れ渡った空の青さと、桜の淡いピンクのコントラストがお見事。春の暖かな風を感じさせる作品に仕上がりました。



### 警固公園のモデル

[氏名] 望月 陽生

[場所] 警固公園／第26回都市景観賞

[コメント]

ハトが3羽全く動かずにいたから。

[審査講評]

構図のバランスの良さが見る人を惹きつけ、思わず「うまい！」と手にとっていました。都会の中の小さな自然を覗き込んでいるよう、ハトの会話も聞こえてきそうです。コンテストの規定に捉われず、自由な感覚で撮影された作者の視点も評価したいです。



### 木のダンダンと森のダンダン

[氏名] 女賀 千枝里

[場所] アクロス福岡／第12回都市景観賞

[コメント]

急な角度が特徴的になったと思います。でも、もう少し、目立つような物を加えてみたほうがよいと思いました。

[審査講評]

まずタイトルに惹かれました。物語が始まるような気持ちで写真を覗くと、絶妙なバランス感覚で捉えられた写真の先に、いろんなものが見えてきます。景観賞を受賞した2つの建物をうまく取り込み、線、形、色も上手に切り取っていて、かっこいい作品だなと思いました。



### きらきらエレベーター

[氏名] 丹羽 由美香

[場所] 天神MMビル／第9回都市景観賞

[コメント]

イムズの吹き抜け部分からトイカメラで撮影しました。万華鏡みたいできれいでした。

[審査講評]

「これはどこにあるんだろう？」美しくって幻想的でとても惹かれました。景観賞に選ばれた建物を、何だかわからないように絵作りされた写真はこの一枚だけだったように思います。トイカメラという特殊なカメラを選んで使っていて、撮るときの楽しさとわくわく感が伝わってくるようでした。



### ありのめせん

[氏名] 鐘ヶ江 渉

[場所] 赤煉瓦文化館／第16回都市景観賞

[コメント]

ありさんの目線だとこんな感じかなと思った。

[審査講評]

赤煉瓦と黄色い花の対比が綺麗で、どちらにも思いを馳せながら撮影していることがわかります。また、ありのめせんになってみようと、作者が寝転がって撮っている姿を想像するだけで愛らしくて、いい視点だなあと感心

## ▶ 入選(一般部門／16作品)

Prize



◀ 骨  
杉山 太一  
アクロス福岡



◀ わたあめくも  
比嘉 千絵  
シーサイドももち海浜公園



◀ 空からたてものが  
ふってきた  
岸川 陽香  
岩田屋Z-SIDE



◀ 和の価値  
佐々木 紫  
料亭老松



◀ 窓拭き日和  
本田 優子  
アクロス福岡



◀ 噴水の橋  
鹿毛 七心  
キャナルシティ



◀ ひゅう～どろん  
白石 哲士  
東区花火大会



◀ ドームに降り注ぐ  
花火  
橋本 穎寛  
福岡ドーム



◀ アートな街  
丸山 徳子  
キャナルシティ博多



◀ 緑溶け込む街  
仲原 健一郎  
アクロス福岡



◀ ぐりんぐりん  
福山 喜絵  
ぐりんぐりん



◀ 僕が見つけた  
空の入口  
耘野 楓  
なみきスクエア



◀ お山の上から  
た～まや～  
鶴岡 政典  
東区花火大会



◀ ねごこち  
矢舗 愛  
アクロス福岡



◀ 新緑のお濠  
岡安 志保  
舞鶴公園の濠



◀ 仲良し  
浮田 音花  
アクロス福岡

## 第7回 福岡市都市景観賞まちなみ写真コンテスト概要

【募集期間】平成29年7月1日(土)～8月20日(日)

【応募部門】A:一般部門(中学生以上) B:キッズ部門(小学生以下)

【応募作品】福岡市都市景観賞を受賞した景観が写真に写っていること。

【審査員】池田 美奈子(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)、酒井 咲帆(株式会社アルバス代表取締役)、坂井 猛(九州大学キャンパス計画室教授)、納富 猛(株式会社西日本新聞社写真部長)、百瀬 俊哉(九州産業大学芸術学部写真映像学科教授)

【応募総数】530作品(一般397作品、キッズ133作品)

【入選】市民賞／1作品、優秀賞／8作品(一般部門4作品・キッズ部門4作品)、入選／16作品

※市民賞とは…一次選考で通過した作品をネット上で掲載し、投票が多かったものを市民賞として表彰します。

市民投票は平成29年9月10日(日)～9月25日(月)の16日間で実施し、2556票の投票がありました。